

平成 30 年度事業報告

シルバー人材センターの基本理念である「自主・自立、共働・共助」のもと、会員が豊富な経験と知識、技能を生かしながら健康を保ち喜びと生きがいをもって、地域社会に参加し、貢献してまいりましたが、会員の高齢化、独自事業の拡大等、多くの課題をかかえている状況が続いております。

この状況を打開するには会員の増加と就業機会の拡大を最重点目標に掲げ、シルバー事業の普及啓発のためのPR活動を積極的に実施しました結果、会員数については昨年度に続き前年度を上回ることが出来ました。

また、高齢者の優れた知識と豊富な経験を活かし、生涯現役で活躍し続けられる就業機会の提供と確保にも努めた結果、事業全般にわたり微増ではありますが、前年度を上回ることができました。

このことから、今後においても就業機会の拡大を図ることや会員の増加についてはセンターの活性化を図るうえで必要不可欠であることから、引き続き最重要課題として取り組んでまいります。

1 事業の普及啓発

- (1) センターの機関紙「シルバーだより」を8月と1月の年2回市広報紙に折込み市内全世帯に配布し、センターの普及啓発に努めました。
- (2) 市広報「北名古屋」、地域情報誌「北名古屋市民タイムズ」に、会員募集、総会及びシルバーの日・互助会フェスティバルなどの情報を提供し、センター事業の普及啓発に努めました。
- (3) 9月のシルバー会員・就業拡大強化月間においては、啓発看板やマグネットシート等により会員募集と就業開拓に努めました。
- (4) 10月の事業普及啓発促進月間においては、関係団体、事業所等を訪問し、事業内容の啓発に努めました。
- (5) 11月3日の「商工祭」及び11月23日の「ふれあいフェスタ 2018」等において、女性部会の手作り作品、木工部会の木工製品及びふれあい農園部会の農作物を販売すると共にシルバーの相談窓口を開設し、シルバーへの入会、仕事の受付等の普及啓発に努めました。
- (6) センターのホームページを随時更新し、シルバーの啓発に努めました。
- (7) 北名古屋市循環バス車内及び公共施設に会員募集ポスターを掲出し、会員拡大に努めました。

2 組織の状況

- (1) 平成30年度は、入会者68名、退会者50名（うち物故者12名）で、年度末会員数は737名となり、昨年度より18名増（前年度比2.5%増）となりました。これは、新会員紹介カード及びゴールド会員制度、会員互助会の運営等による入会促進が影響したと思われます。また、退会された会員の内、病気・高齢の理由で退会された会員は約半数（48.0%）を占めました。
- (2) 入会説明会を、年間12回（毎月第3水曜日）開催し、シルバー人材センターの役割、仕組み、安全就業、就業基準等について説明すると共に理事等2名が参加し、先輩会員としての経験談等を話し、入会促進を図りました。
- (3) 社会福祉協議会、市老人クラブ連合会、笑楽クラブなどの団体に働きかけ入会案内や事業協力を進めました。

3 事業実績

- (1) 事業の契約金額は、3億3,615万円で、前年度に比べ255万円増（0.8%増）、また、配分金の総額では、2億7,656万円で、前年度より340万円増（1.2%増）となりました。
年間就業延人員は、8万7,089名で、前年度より2,967名減（3.3%減）となりました。

区分 年度	契約金額 (万円)	配分金収入 (万円)				年間就業 延人員 (人)
		事業所	公共	一般家庭	独自事業	
30年度	33,615	8,619	12,073	6,462	502	87,089
29年度	33,360	8,673	11,797	6,333	513	90,056
増 減	255	△54	276	129	△11	△2,967
前年増減比	0.8%	△0.6%	2.3%	2.0%	△2.1%	△3.3%

- (2) 愛知県シルバー人材センター連合会北名古屋市事務所としての一般労働者派遣事業の契約金額は、1,721万円で、前年度に比べ27万円減（1.5%減）、また、会員賃金の総額では、1,373万円で、前年度に比べ14万円減（1.0%減）となりました。
年間労働者延人員は、383名で、前年度より5名減（1.3%減）となりました。
- (3) 空家等の管理を適切に支援するため、市と「空家等の対策に関する協定

書」を10月に締結しました。

- (4) 独自事業の木工部会は、手作りの木工製品を市主催のイベント等で販売すると共に、注文による作製販売も行いました。

また、女性部会は、活動拠点のふれあいの家で、布製の小物等を作成し、木工部会と共に、イベント等に参加して展示販売を行いました。

ふれあい農園部会は、各種農作物の生産を行い、市民の皆さんに販売すると共にイベントに参加して地産地消とシルバーの普及啓発に貢献しました。

高齢者生活支援部会は、独り暮らしの高齢者等に対する生活の手助けを行うと共に喫茶あけぼのを営業し、憩いの場の提供をいたしました。

4 安全・健康管理

- (1) 7月・1月の安全就業強化月間には、安全意識の高揚を図る看板を掲出すると共に、7月・10月・1月には就業現場の安全パトロールを県シ連等と共に実施し、就業中の事故に対する注意喚起を呼びかけました。
- (2) 安全就業と事故防止を図るため、6月、会員から安全標語を募集し、優秀作品を発表すると共に、毎月発行の「シルバーニュース」に事故防止の喚起記事を掲載するなど啓発に努めました。
- (3) 11月に草刈機の操作方法及び危険防止の講習会を本部において開催しました。
- (4) 事故の発生状況については、傷害事故2件、損害賠償事故2件で、前年度と比べ傷害事故は4件、損害賠償事故は1件減少しました。

5 東、西支所（事務部門）の統合

事務の合理化、経費削減を図るため、東西支所の事務部門を本部に統合し事務を進めました。

6 シルバーの日及び互助会フェスティバル

10月20日に「シルバーの日・互助会フェスティバル」を開催し、表彰伝達後、アトラクションとして各クラブの舞台発表、作品展示、天神太鼓演奏及び渚上雅代歌謡ショーを行い、市民の皆さんにも参加いただくと共に会員相互の親睦、交流を図りました（出席会員約430名）。

7 福利厚生等

3月に、各地域班長が招集する地域班会議がそれぞれ開催され、理事、事務局も参加するなか、シルバーの現況報告、意見交換及び情報交換等が行わ

れ、会員相互の交流が図られました。また、理事及び事務局からは、

- ① シルバー人材センターの現況について
- ② 総会・シルバーの日への出席依頼
- ③ 児童遊園等の除草作業
- ④ 地域奉仕活動への参加
- ⑤ 事業状況
- ⑥ 安全就業の徹底

等を説明し、シルバー事業のご理解とご協力をお願いしました。

8 社会奉仕活動

5月の市ごみゼロ運動、10月の合瀬川清掃活動等に参加しました。また、2月に師勝西小学校で開催された「昔の話を聞く会」に会員を講師として派遣しました。

以下、会員状況、事業実績、事故状況等については、別表のとおりです。